

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 大住緑栄

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物はマニフェスト伝票作成・管理を行い、契約を交わした処理業者へ委託を行い、適正に処理するとともに、県への報告も適切に行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所の不要な照明の消灯により節電に取り組んでいる。 ・現場へ往来時は、ルートの効率化を考慮している。 ・【予定】熊本県の簡易計算シートを活用し、エネルギー使用量の把握及び削減に取り組む。(2023年10月実施)							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省が推奨する空調機器の温度に基づいた温度設定管理に努めている。 ・現在原油換算エネルギー使用量49kl、CO2量合計130t-co2。建設機械、ダンプトラック、社用車等を新しく買い替える際は低燃費のものに切り替えをし、CO2量の削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・燃料等の給油の際は、オイルシート等を必ず用いて、環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・ゴミを分別して、できる限りリサイクルするように努めている。 ・森-川-海をひとつと考える環境保全草刈りボランティア活動に参加している。 ・作業場に昆虫等の住処、産卵場所として現場で出た木屑等を用いて作っている。					6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・書類のペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・Faxは、先にパソコンで確認後必要なものだけを印刷している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社員へ「節水意識」を啓発している。 ・消毒や除草剤等の作業には、雨水を貯めて利用している。 ・社員の手洗い用水やトイレの水は雨水を利用したり、複数回利用するようにしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー用紙やファイルなど再生用紙を活用しており、グリーン購入、エコ商品を優先活用するようにしている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社敷地内に植栽するなど緑化に取り組んでいる。 ・事務所内に観葉植物を育て増やし、オフィス緑化に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・杉やヒノキ等の用材木の伐採から植林までを行っている。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・森林を守るために鹿ネット等を用いて整備を行っている。 ・工事現場の清掃活動を積極的に行っている。 ・地域の環境保全、地域再生に資するために草刈ボランティア活動に参加している。 ・森-川-海をひとつと考える環境保全草刈ボランティア活動に参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・建設機械、ダンプトラック、社用車等を新しく買い替える際は、環境に優しい低燃費のものに切り替えている。 ・排ガス低減のため、作業現場へ乗り合わせの移動を行っている。										9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2	

